



高槻市市街地西北部の氷室町を南北に走る氷室川は、バイパスが造られたことよって本来の河川機能が低下し、雑草が繁茂して蚊や悪臭の発生源となり、地域住民からはその改善が要望されていた。そこで高槻市は地域住民の要望に応え、さらに河川を利用した「憩いとふれあいのある」緑道整備を行うため、氷室川の河床にヒューム管を埋設し、その上に玉石を敷き、幅約二メートルのせせらぎとせせらぎに沿った遊歩道を整備した。遊歩道の両側には四季折々の花木を植え、ベンチ等を設置し、今では、親子で憩える場所として親しまれている。

データボード⑰

- ① 大阪府高槻市氷室町4丁目
- ② 延長139m、幅員2m(せせらぎ)
- ③ せせらぎ
- ④ 自然石